サポート情報記事

ポリシーハブの検出とアクセスの問題を解決する

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

症状を記録する 4

ハブ接続を確認する 4

構造と権限を別々に確認する 5

比較表で失敗の範囲を絞る 5

原因の切り分け中は広範な変更を避ける 6

修復を検証する 7

ハブ検出エラーとアクセス拒否のメッセージは原因が異なります。まず、Web パーツがハブを見つけられるか、サインイン中のアカウントがそのデータを読み取れるか、アプリケーションが必要なロールを解決できるかを確認します。ハブの再作成は最初の診断手順ではありません。

症状を記録する

ページ URL、Web パーツ、サインイン中のアカウント、想定するハブ URL、正確なメッセージを記録します。すべてのユーザー、特定のロール、または特定のページだけに影響するかを確認します。管理者がページを利用できても、従業員に同じリストやソースの権限があるとは限りません。

インターフェイスがライセンスの期限切れを明示している場合は、製品ライセンスの管理者に対応を依頼します。これをポリシーリストが消えた証拠と解釈しないでください。設定を変更する前にメッセージを保存します。

ハブ接続を確認する

1 問題のページを編集し、Web パーツのプロパティで **ポリシーハブサイト** を確認します。
2 個別のポリシーやドキュメントの URL ではなく、意図した SharePoint ハブサイトと比較します。
3 影響を受けるアカウントで目的のサイトを直接開きます。
4 製品設定リストと必要な製品リストが存在するか、管理者に確認を依頼します。
5 接続を修正した場合は保存し、ページを再読み込みしてから再テストします。

リゾルバーは、設定されたサイト、現在のサイト、既定の `/sites/VitextraPolicies` を確認します。設定リストの存在でハブを識別し、解決した接続をキャッシュします。そのため、ページが想定とは別の利用可能なハブに接続する場合があります。プロパティの値だけでなく実際のデータも比較してください。



目的のハブへのページ接続を確認する

構造と権限を別々に確認する

セットアップの準備状況チェックは、11 個の製品リストおよびライブラリを想定しています。必要な名前がすべて存在しても、すべての権限と設定が正しいとは限りません。構造が不完全な場合は、管理者が既存のハブを調べ、サポートされているセットアップ手順で不足するコンポーネントを追加します。セットアップをやり直すために既存レコードを削除しないでください。

次に、影響を受けるアカウントに割り当てられた製品ロールと実際の SharePoint アクセスを確認します。管理用およびレポート用 Web パーツには適切なロールが必要ですが、基になるリストやソースドキュメントには個別の権限があります。ページが見えることは、そのデータやドキュメントへのアクセス権を意味しません。

ロール解決はディレクトリとグループの情報にも依存します。グループメンバーシップの取得が失敗すると、管理者が所属していると考えていても、アプリケーションが期待するロールを取得できない場合があります。ロール割り当てをむやみに変更する前に、ブラウザーのエラーとディレクトリアクセスを確認してください。

警告

製品の権限マトリックスを適用すると、製品リストの権限が変更されます。**保存して権限を適用する** を選択する前に、意図したロールを確認し、管理者アクセスを維持してください。製品ロールや所有者によるインターフェイスのフィルタリングは、SharePoint の実効権限の確認に代わるものではありません。

比較表で失敗の範囲を絞る

権限を変更する前に、同じ操作を複数のアカウントとページで比較します。問題が人、ページ接続、基盤のハブのどれに伴うかを判断できます。管理者の成功を通常アクセスの証明とせず、代表的なアカウントを使ってください。

比較	次に調べる主な箇所
同じユーザーが、目的のハブに接続する別ページでは操作できる	失敗するページの接続とナビゲーションのプロパティ。

比較	次に調べる主な箇所
同じページで管理者は成功し、従業員は失敗する	従業員のロール解決、実効リスト権限、ソースアクセス。
サイトは開くがポリシーデータが読み込まれない	製品リスト、権限、解決されたハブ。
カードは読み込まれるが文書へのアクセスが拒否される	ハブ検出だけでなくソース文書のアクセス。
設定変更後、複数のロールで失敗する	変更したハブ、ロール、権限設定と部分的な同期の有無。

これらの比較は調査の指針であり、一つの原因の証明ではありません。たとえば、グループ検索の失敗がロール所属の欠如に見える場合や、別の有効なハブを参照するページが、ハブ未検出のメッセージなしで別レコードを表示する場合があります。正確なエラーと実際に解決されたデータの状況を保存してください。

原因の切り分け中は広範な変更を避ける

一つのページが失敗するだけで代替ハブを作成しないでください。まず元のデータが残っており、担当管理者がアクセスできるかを確かめます。二つ目のハブを作るとナビゲーションが分かれ、従業員のタスクがページごとに異なるように見えることがあります。

同様に、通常アクセスのテストのために全員を管理グループに追加しないでください。そのテストは確認すべき条件を迂回します。特定した接続または権限の問題を修正し、ページを再読み込みして、元の影響を受けたアカウントで同じ操作を繰り返します。

権限適用が途中で失敗した場合、マトリックス全体がロールバックされたと想定せず、対象のリストを調べます。この操作は複数のリストに権限を適用します。失敗した箇所を記録し、管理者アクセスを維持し、その後に完了した設定を確認してください。代表的なアクセス試験は KB10500. Policy Acknowledgementのロールと権限を設定する方法、アクセスが機能しても期待するレコードがない場合は KB10536. ポリシー、従業員、割り当てが表示されない問題を解決する を参照してください。

修復を検証する

影響を受けるアカウントで問題のページを再読み込みします。想定したポリシーが表示され、許可された操作が成功することを確認します。ソースドキュメントは別にテストしてください。特定のページだけで失敗する場合は、テナント全体のアクセスを変えるのではなく、そのハブと閲覧ページのプロパティを正常なページと比較します。

エスカレーション時は、ハブとページの URL、アカウント、ロール、メッセージ、時刻、サイトへの直接アクセスの成否を伝えます。認証トークンや機密性の高い従業員レコードを含めず、関連するエラー詳細を提供してください。製品の保存と接続のモデルは KB10496. Policy Acknowledgement：クイックスタートガイド、ロールと権限は KB10500. Policy Acknowledgementのロールと権限を設定する方法 を参照してください。